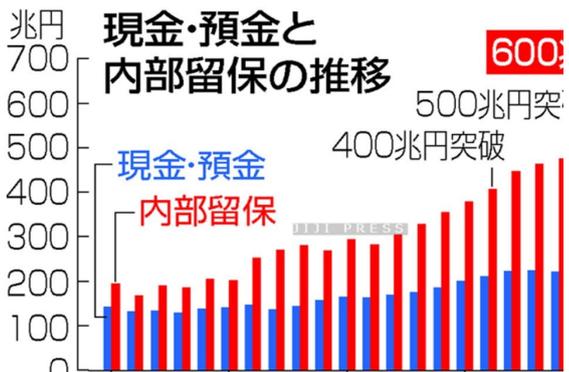




副業しないでも豊に暮せる上場企業へ!



日本の賃金は、30年も長期にあたって減り続け実質賃金はピーク時の1966年から年収で約74万円も減少しています。その一方で、財務省が昨年発表した法人企業統計調査によると、企業の利益から税金や配当を差し引いた「内部留保（利益剰余金）」は2023年度末に600兆9857億円となつていきます。大企業の過去30年では利益は16倍以上に増え株主の配当は10倍近くに増加しました。アベノミクスでは、大企業が儲かればトリクルダウンが起き労働者全体が潤うとされていましたが、結果はご覧の通りです。

人件費の伸びは、内部留保と比べると限定的となっており、財務省も増加が続く内部留保について「構造的賃上げとして労働者に分配し、消費や投資も伸びる経済成長につながる好循環が重要だ」と強調しています。景気の好循環に向け、積み上がった内部留保の活用が課題です。JR九州は、第三四半期決算では、連結営業収益は鉄道旅客運輸収入の増、不動産・ホテルの収入増などにより289億円増収となりコロナ前を上回って過去最高となっている。高速船問題での影響が危惧されましたが、会社は大した影響はないという回答でした。

今春闘では、各企業が人材を確保するために、賃上げを言及しています。社員のためには大幅な賃上げの絶好のチャンスです。国労はベア6・1%17000円・夏季手当3・2カ月十物価上昇対策費として一時金10万円を要求して闘います。合わせて労働条件改善署名も提出し働きやすい職場を目指して奮闘します。会社の支払い体力は十分にありまます。要求獲得の実現と一緒に頑張りましょう。

九州運転協議会総会開催!

2月3日博多駅東 TKP 会議室において、第13回九州運転協議会総会を開催しました。全国運転連絡会は、昨年で終了となりましたが、九州では出来る限り継続していく事で一致しました。総会では、九州各地から15名が参加し職場の年休問題や、マルチスキル、エリア限定社員の転勤問題等出し合いながら意思統一を行いました。総会は年1回開催することにしました。



がん保険にできることを、もっと。

No.1 アフラックのがん保険は、がん発症時の給付金が最も多い。

NEW 「生きる」を創る **WINGS**

1 幅広い保障で経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外注ケアまで幅広い保障でしっかりサポートすることが出来ます。

2 利用サービス＜アフラックのよみがえりがん相談サポート＞
アフラックのよみがえりがん相談サポートがさまざまな悩みの解決をサポート
「がんがもしれない」と思っている方から専門知識を持つ相談員が確信をお伝えします。

（※1）アフラックのよみがえりがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックのウェブサイト（<https://www.afac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>）をご覧ください。

（所属代理店）（アフラックは代理店制度を採用しています）
アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5
交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

（引継ぎ先）
「生きる」を創る。 **アフラック**
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービル19階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885